

府立交野支援学校四條畷校



テーマ: 学ぶって楽しい! ~主体的・対話的で深い学び~

概要

中学部(国語科)と高等部1年(数学科)の授業を通して、「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」について考え、共有しました。「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」についての理解や、授業場面における各視点の具体的なイメージを共有することで、各教員の授業における気づきや各視点の確認につながりました。事前授業や授業後の協議では、指導と評価の一体化についても協議し、授業におけるねらいや評価規準を確認しながら「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を図りました。

実施

スケジュール

Research

5月31日(水)

打合せ

Vision

7月19日(水)

全体会

Plan

7月下旬~

学習指導案の作成・検討

Do

10月30日(月)・11月7日(火)

事前授業・授業後の協議

11月13日(月)・11月14日(火)

研究授業

Check & Act

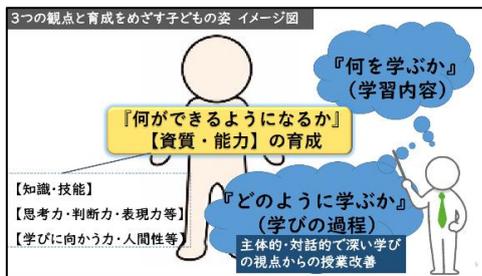
11月29日(水)

研究協議・アンケート集約

全体会

7月19日(水)「主体的・対話的で深い学びー授業づくりと授業改善を考えるー」について
支援教育推進室指導主事より(以下資料より抜粋)

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善について、育成をめざす資質・能力の3つの柱を基に、「どのように学ぶか」に焦点を当てながら、授業における具体的な取り組み例をお伝えしました。より具体的にイメージできるよう、実際の授業場面を想定したシナリオで教員が対話式の授業風景を実演し、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」それぞれについてワークショップ形式で共有を図りました。



主体的・対話的で深い学びの実現に向けて(参考)

主体的な学び	対話的な学び	深い学び
興味や関心を高める	互いの考えを比較する	思考しつづける
見通しを持つ	多様な情報を収集する	知識・技能を習得する
自分と結びつける	思考を表現に置き換える	知識・技能を活用する
粘り強く取り組む	多様な手段で説明する	自分の思いや考えと結びつける
振り返って次に繋げる	先題の考え方を手掛かりとする	知識や技能を概念化する
	共に考えを削り上げる	自分の考えを形成する
	協働して課題を解決する	新たなものを削り上げる

『主体的な学び』子ども(学習者)の視点では…

T: さあ、次は歌唱です。先週新しい曲を歌いましたね。どんな曲名だったか、覚えてる人はいますか?
A: えー、どんなやつだったか、なんか「明るい感じの曲」
B: 曲名は覚えてないわー。
T: そうかー、では大ヒント!これを聴いてください
B: あー!
T: どうか?『サンタ ルー』
A: (考えながら) サンタ ルー、サンタ ルー…
T: あど2文字ー!
C: …あ
T: Cさん、わかりましたか?
C: サンタ ルーオー!
T: 正解!『サンタ ルーオー』でしたね。発音も素晴らしいー!
Cさん、覚えていたきっかけって、何かあったのですか?

主体的な学び

- 興味や関心を高める
- 見通しを持つ
- 自分と結びつける
- 粘り強く取り組む
- 振り返って次に繋げる

『深い学び』子ども(学習者)の視点では…

T: さあ今日は、畑の達人の〇〇先生の畑を見に行こう!
(見学して自分たちの畑に戻ってきました…)
T: 〇〇先生の畑を見せてもらって、何か感じたことはありますか?
C: はい(手を挙げて)きれいな畑でした。
T: なるほど、確かに。ではどのようなところがきれいと感じたところ…
A: ……整理整頓?
C: でも、僕らも片づけはしてるで
B: あっ、なんか、雑草がなかったんちゃう?それで通路とかきれい…
C: あー、そうかも!
T: いいところに気が付きましたね!そう、〇〇先生は日頃から何かに気…
畑のお仕事をしているそうです。なんだと思いますか?
A: 〇〇先生、よく知れているけど…雑草抜きてたんだな。
T: それはどうしてだと思いますか?
C: はい、前に先生が、雑草があると野菜の栄養を取ってしまうって…
T: そう、だから〇〇先生はこまめに草引きをされていたんですね。

深い学び

- 思考しつづける
- 知識・技能を習得する
- 知識・技能を活用する
- 自分の思いや考えと結びつける
- 知識や技能を概念化する
- 自分の考えを形成する
- 新たなものを削り上げる

研究授業

学年・教科： 高等部 第1学年 数学科
 単元名： 「わり算～みんなでシェアしよう～」

研究協議のポイント

数学に対する苦手意識のある生徒の実態から、日常生活で活用できそうな身近なものを題材にした、わり算につながる「(数を)分ける」授業を実施しました。その中で、グループワークに取り組み、生徒どうして意見交換を行いながら答えを導き出しました。これまでの学びを振り返ることで、解答につなげることができました。授業者がそれらの学びをねらった意図的な発問をすることが、生徒の「主体的・対話的で深い学び」の授業改善になり、生徒の学びを深めることにつながりました。

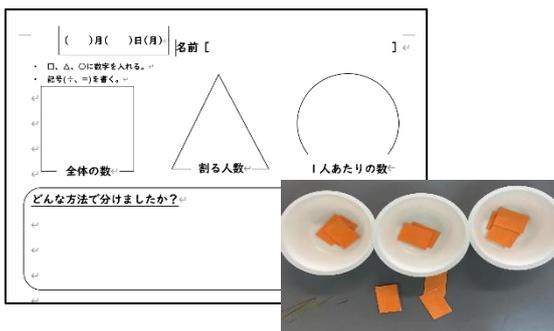
学年・教科： 中学部 国語科
 単元名： 「主語、述語、修飾語を使ってAIで絵を描こう！」

研究協議のポイント

文の構成を理解することで、普段の会話がより具体的で伝わりやすい内容になることを長期的な目標とし、文章の「主語、述語、修飾語」の理解と活用を、生成系AIを用いて授業を実施しました。画像に興味を示し、文字で見る文章が画像化されると、生徒たちは自身のイメージと画像が合致しているかを瞬時に確認できていました。また、主語や述語・修飾語の順番が違くと、まったく違った意味の文章になることを文字と画像の両方で確認することができたことは、適切な文章構成の大切さに気づくことにつながり、今後の日常生活における会話に活用できる「深い学び」となる取り組みでした。

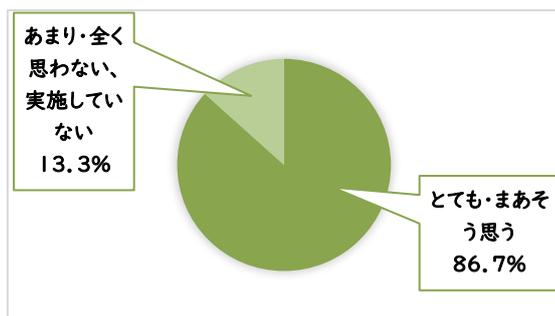
日常的に行われる「授業」において、「授業改善」をどのように行って行けば良いのかを、3つの学びの視点で考えることで、教員の授業での問いかけにも変化が生まれ、子どもの学びが明確になっていくことを確認できました。また、研究協議では、授業者とファシリテーターが対話形式で協議し、他の参加者にも意見を求める等、授業者の思いや授業の様子が全体で共有できる研究協議となっていました。

成果

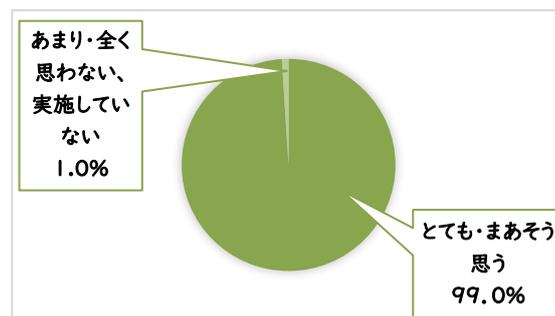


アンケート結果

① 実施前



② 実施後



(アンケートより)

- ・今回は2人の授業者でしたが、もっと多くの先生方にも一緒に取り組んでもらえたら、もっとよりよい研修になったと思いました。
- ・日々忙しい中で、授業についてしっかり考えられる良い機会になりました。
- ・2人の先生方、お疲れ様でした！授業の進め方など参考になりました。
- ・授業を見に行ける機会が作られるので、とてもありがたいです。
- ・文面のみで読んでいた学習指導要領の内容を、現場にわかりやすく伝えていただき理解できたとともに、やはり、子どもたちの学びを優先して、授業計画を変更していくことの必要があることを確認できてよかったです。